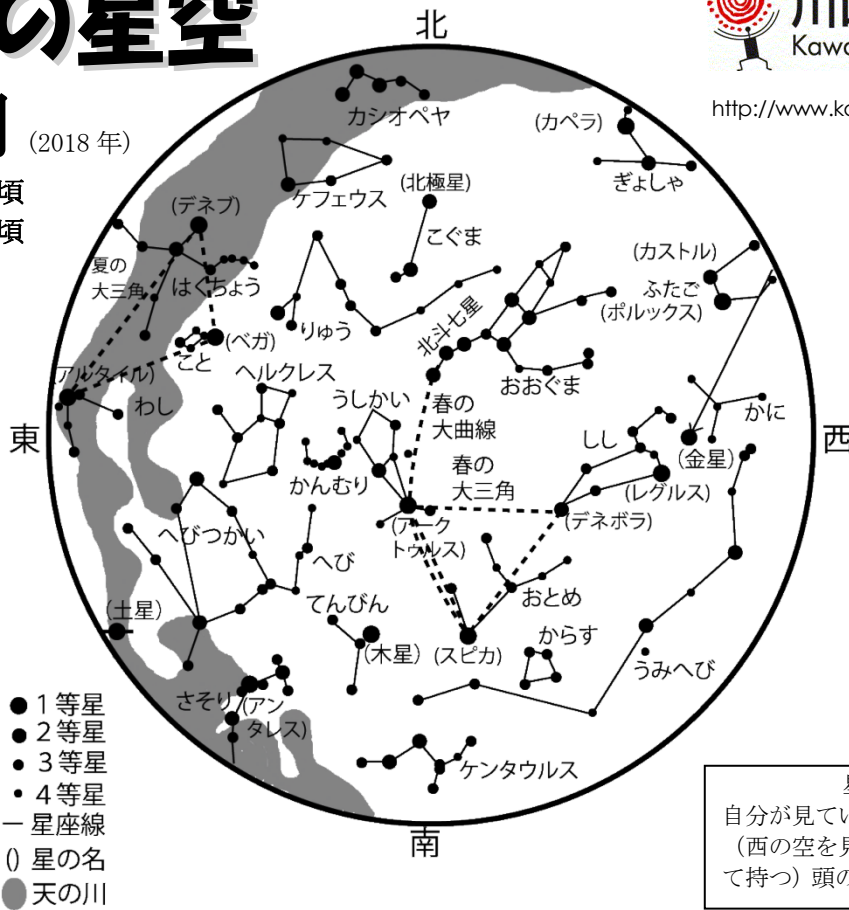


# 今月の星空

6月 (2018年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



月 齢	● 下弦 7 日、● 新月 14 日、● 上弦 20 日、○ 満月 28 日
惑星情報	金星 夜のはじめ頃 西 (ふたご座 → かに座 → しし座 -4 等級)
	火星 真夜中 南東 (やぎ座 -1 → -2 等級)
	木星 夜のはじめ頃 南東 → 南 (てんびん座 -3 → -2 等級)
	土星 夜のはじめ頃 南東 (いて座 0 等級)

## ★ 南の空に見られる、木星とアークトゥルス

夜のはじめころ、南の空には木星や「うしかい座」のアークトゥルスが見られます。アークトゥルスは、梅雨の時期の日没後に空高く見られることから、かつては「五月雨星(さみだればし)」と呼ばれていました。

東からは「夏の大三角」や「さそり座」のアンタレスなどの夏の夜空で目立つ星がのぼってきていて、本格的な夏の到来が近いことを感じさせます。

## ★ 土星が観望好機

27日に、土星が地球から見て太陽と反対側にくる「衝(しょう)」となり、一晩中見られるため、観望好機となります。

土星は、直径は地球の9倍、体積は760倍もありますが、その質量は地球の95倍と大きさのわりに軽い惑星です。その平均密度は水の0.7倍しかなく、これは惑星の中で最も小さいものです。その理由は、土星が主に水素やヘリウムなどの軽いガスで出来ているからです。

## ★ 土星の環

土星には立派な環があります。これには「カッシーニの間隙(かんげき)」と呼ばれるすきまがあり、条件が整えば、望遠鏡でも見られます。

この環は、大きさが数mmから数mほどの氷のつぶが集まったもので、1655年にオランダの天文学者ホイヘンスによって発見されました。土星の衛星や彗星が土星の強い重力で破壊されてできたと考えられています。